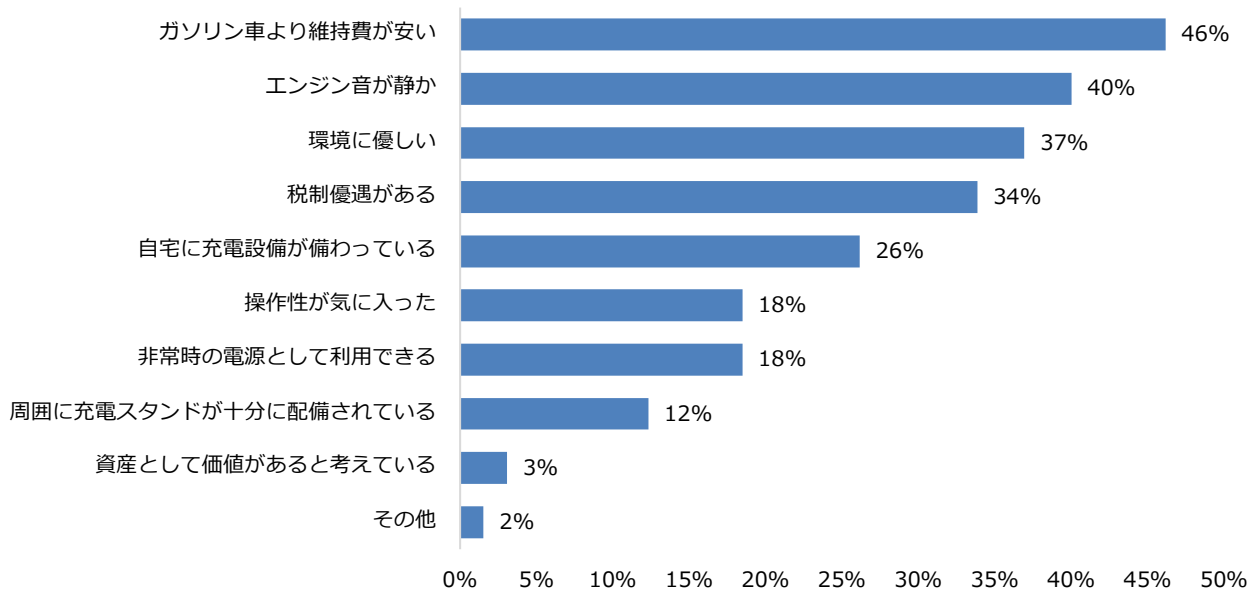


EVを購入した理由を教えてください
(EVを購入し現在も保有している人 n=65 / 複数回答)

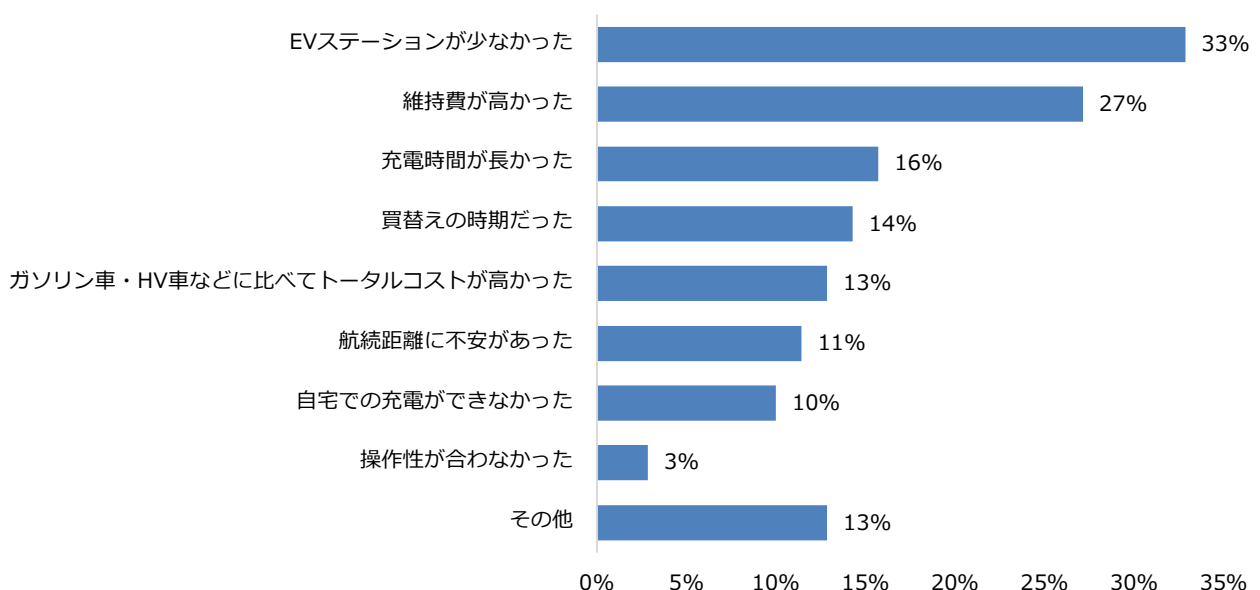


② 購入後に手放した、検討して購入しなかった理由はどちらも充電場所の少なさがトップ

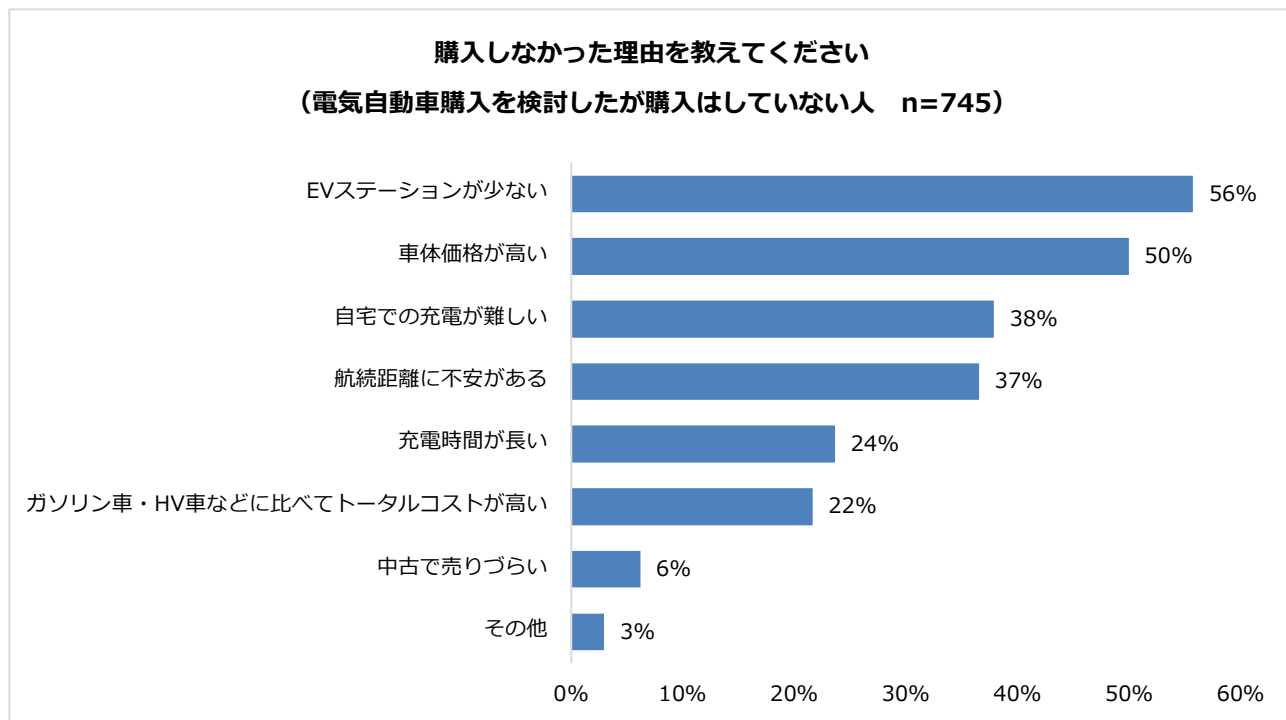
EVを手放した人にその理由を聞くと、「EVステーションが少なかった」33%が最も多く、以降「維持費が高かった」27%、「充電時間が長かった」16%と続きました。全国の充電スタンドの口数は年々増加^{※1}しているものの、自家用車としてEVを保有するには充電インフラが不足していると感じる人は少なくないようです。

※1 経済産業省 [第7回 充電インフラ整備促進に関する検討会より](#)

手放した理由を教えてください
(電気自動車を購入したが現在は手放した人 n=70)



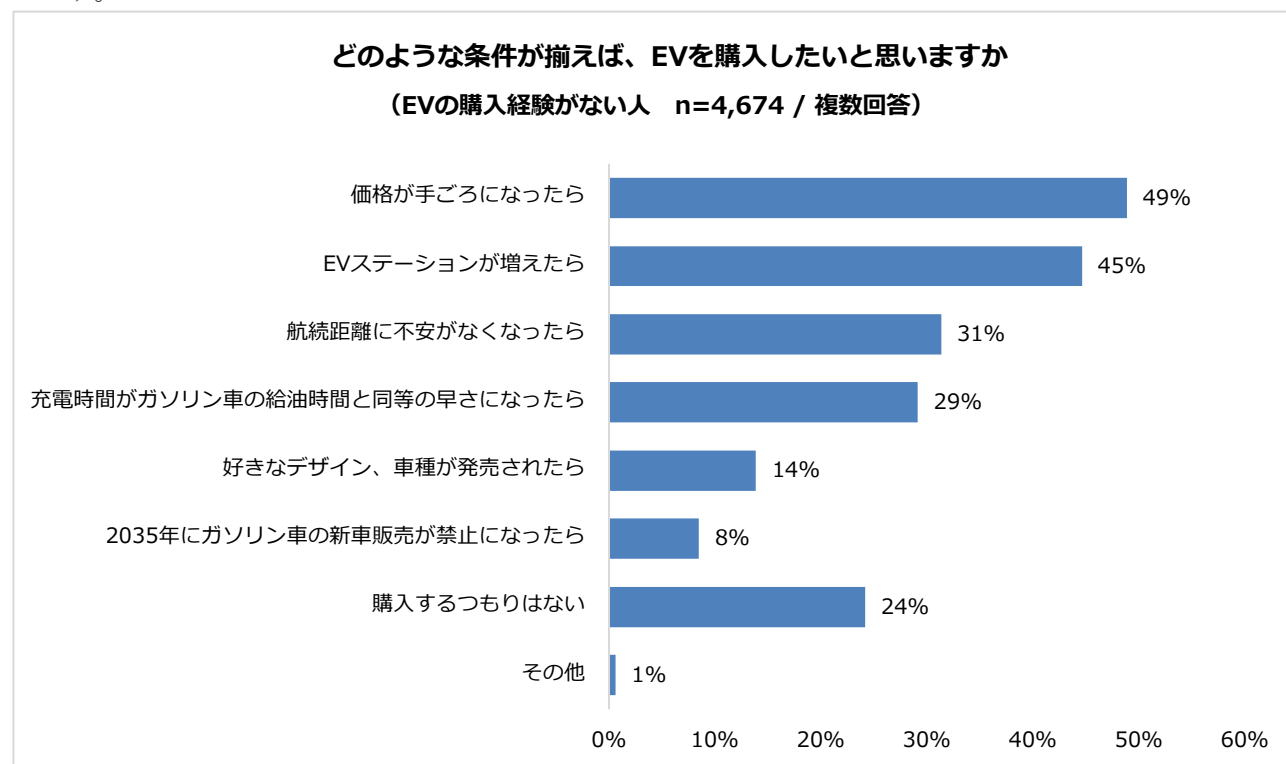
EV の購入を検討し、購入に至らなかった人にその理由を聞くと、過半数が「EV ステーションが少ない」、「車体価格が高い」と回答しました。3 位に「自宅での充電が難しい」38%が挙がり、自宅を含む充電インフラの整備状況も購入判断に影響を与えるようです。



EV を手放した理由および EV を購入しなかった理由における「航続距離へ不安を感じた」の比率を比較すると、前者は 11%であるのに対し、後者は 37%でした。バッテリー容量の増加などによって EV の航続距離は年々長くなっており、実際に EV を自家用車として利用することで、航続距離への不安が軽減するようです。

③ EV 購入経験がない人のおよそ半数は、価格低下とインフラ整備によって購入意欲が高まる

EV の購入経験がない人に、どのような条件が揃えば EV を購入したいと思うか尋ねると、「価格が手ごろになったら」49%が最多でした。続いて「EV ステーションが増えたら」45%、「航続距離に不安がなくなったら」31%という結果になりました。なお、4 人に 1 人は「購入するつもりはない」と回答しています。



今回のアンケートにおいて、EV 保有者は「維持費の安さ」を主な理由として EV を選んでいる一方、EV の購入経験がない人は車体価格や充電インフラの整備状況が購入意欲に大きく影響するなど、重視する点に違いが見られました。

国からの EV 購入の補助金制度に加え、東京都では新築建築物に EV 充電設備の設置を義務付ける条例が 2025 年 4 月から施行されるなど、国や地方自治体で EV シフトに向けた政策が進められています。EV シフトの加速により、EV ステーションが増えることで航続距離への不安が解消されれば EV 購入を検討する人が増えるかもしれません。

カーシェアリングサービス「タイムズカー」には 3 種の EV をラインアップしています。購入検討の際には、EV の乗り心地や充電手続きをタイムズカーで体験してみてもはいかがでしょうか。

■調査概要

調査対象：タイムズクラブ会員

(2024 年 2 月 27 日以降に入会し、直近でパーク 24 グループのサービス※を利用された方)

※対象サービス：時間貸駐車場・予約制駐車場・カーシェアリング・レンタカー

調査方法：非公開型インターネットアンケート

調査期間：2025 年 2 月 27 日～2025 年 3 月 10 日

有効回答者数：4,811 名

※調査結果は、四捨五入による端数処理のため、構成比が 100%にならない場合があります。